

全国の支援者の皆様へ

活動のご報告

参議院議員 自見はなこ



☆公式 LINE☆



2026年（R8年）6月

通常国会では、予算成立後も重要法案の審議が続いており、物価高への対応、社会保障制度改革、地方創生など、国民生活と日本の将来に関わる幅広い課題について議論が重ねられています。今国会においてなお重要な政策課題が残される中、丁寧な審議と着実な政策実現が求められています。参議院厚生労働委員会の筆頭理事としても、重要法案をあずかる立場であり、引き続き現場の声を政策に反映しながら、国民皆様の安心と将来世代への責任を果たすべく全力で取り組んでまいります。

今月も活動の一部をご報告いたします。

■「超党派 成育基本法推進議員連盟」

5月18日、「超党派成育基本法推進議員連盟」（会長：野田聖子先生）の第24回議員総会を開催いたしました。私は事務局長を拝命しています。

近年、スマートフォンやSNSはこどもたちの生活に深く浸透する一方、近視の増加やネット依存、睡眠への影響など、心身の健康への大きな懸念が指摘されています。今総会では、眼科医、小児科医、脳科学や教育分野の専門家などから最新の知見を伺い、青少年のインターネット利用の在り方について議論を行い、提言を取りまとめました。

私が一貫して大切にしているのは、「デジタル機器・SNSを規制すること」そのものではなく、「こどもたちの健やかな成長をどう守るか」という視点です。成育基本法やこども基本法に掲げられた『こどもの最善の利益』を基本に据え、デジタル社会の利便性と、こどもの健康や発達を両立させるために何が必要かを検討しています。

科学的根拠に基づいて、こどもたちをデジタル社会のリスクから単純に遠ざけるのではなく、その恩恵を受けながら安心して健やかに成長できる社会を目指して引き続き取り組んでまいります。



↑ ↑ ↑
詳しくはこちらを
ご覧下さい

■「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟」

5月29日、「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟」（会長：田村憲久先生）の第14回総会を開催しました。事務局長を務めています。

医師偏在の議論は、これまで医師数や配置の問題として捉えられることも多くありましたが、地域医療を持続可能なものとするためには、「どのような医師を育てるのか」という医師養成の視点を避けて通ることはできません。

今総会では、医師国家試験のあり方や学位授与、卒前・卒後教育の再設計、広域連携型プログラムの課題などについて、有識者や関係団体、関係省庁と議論を行いました。特に、知識の習得を重視した教育から、実践的な臨床能力や地域医療への理解を育む教育への転換の必要性を提起いたしました。

医師偏在は、医師を「どこに配置するか」の問題であると同時に、「どのような経験を積み、どのような使命感を持った医師を育てるか」の問題でもあります。医師養成の入口から専門研修までを一体的に捉え、地域で活躍する医師が自然に育つ仕組みの構築に向けて、引き続き議論を深めてまいります。



■「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」

6月4日、「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」（会長：加藤勝信先生）において、有床診療所の役割と今後の支援の充実に向け議論し、提言を取りまとめました。当議連で私は、事務局次長を拝命しています。

少子高齢化や人口減少が進む中、有床診療所は外来診療、入院医療、在宅医療、介護との連携、さらには看取りまで担うなど、地域に密着した医療機関として重要な役割を果たしています。特に医療資源の限られた地域では、急性期医療と在宅・介護をつなぐ「地域医療のハブ」として、その機能はますます重要になっています。

今回の提言では、有床診療所の役割を中長期的な視点から改めて位置付けるとともに、物価高騰や人件費上昇など厳しい経営環境を踏まえた支援の充実や、地域医療構想における議論への参画促進などを求めました。

地域包括ケアシステムの深化が求められる中、住み慣れた地域で必要な医療を受け続けられる体制の確保は重要な課題です。今後も現場の声を踏まえながら、持続可能な地域医療の実現に向けて取り組んでまいります。



■「医療・ヘルスケア産業の新時代を創る議員の会」AI 医療機器展示会

5月29日、自由民主党本部において、「医療・ヘルスケア産業の新時代を創る議員の会(ヘルスケアテック議連)」(会長:田村憲久先生)主催によるAI医療機器展示会および意見交換会を開催いたしました。

展示会にはAI医療機器協議会会員企業17社が出展し、画像診断支援や手術支援、診療補助などの最先端AI医療機器を紹介。国会議員や厚生労働省、経済産業省の職員ら約200名が来場し、活発な意見交換が行われました。また、AI医療機器協議会の多田智裕会長から田村憲久議連会長へ提言書が手交され、①AI医療機器産業クラスターの形成支援、②スタートアップへの財政支援拡充、③AI医療機器(SaMD)の迅速な審査・承認に向けたPMDA体制強化、の3点が提言されました。

私自身、AI医療機器やプログラム医療機器(SaMD)の推進に長年取り組んできました。2021年には、自民党データヘルス推進特命委員会(当時委員長:塩崎恭久元厚生労働大臣)において事務局次長を務め、AIを活用したSaMDの課題解決や、政府の「骨太の方針」への提言に携わりました。同委員会は現在、「医療情報政策・ゲノム医療推進特命委員会」へと発展しています。

AIをはじめとする先端技術への投資は、持続可能な医療提供体制の構築だけでなく、日本の医療機器産業の国際競争力強化にもつながります。今後も、医療現場の課題解決と産業振興の両立に向けて全力で取り組んでまいります。



5月16日、第36回 日本臨床工学会にて講演(福岡市)



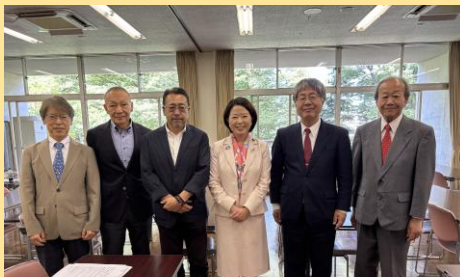
5月17日、静岡県医師連盟・中部地区医師連盟での国政報告会、釜谷敏先生と(静岡市)



5月23日、第99回 日本整形外科学会学術総会にて講演(神戸市)



5月24日、介護・医療の未来を考える政策勉強会×交流会、松川るい先生と(大阪市)



5月25日、茨城県私立幼稚園・認定こども園PTA 連合総会にて講演(水戸市)



5月25日、東京福岡県人会 75周年総会・懇親会(東京都港区)



5月26日、北海道日高管内首長・議会関係者との地域医療に関する意見交換会(議員会館)



6月4日、地方創生 next10(会長の長屋光征岐阜県議他)東京研修会(議員会館)



6月6日、第37回 日本小児科医会総会フォーラムにて講演(新潟市)



6月6日、荒木法子新潟県議主催 新潟県助産師会皆様との意見交換会(新潟市)



6月7日、自民党栃木県連女性局総会にて講演(宇都宮市)



6月7日、第67回 長崎県医師連盟大会にてご挨拶(長崎市)